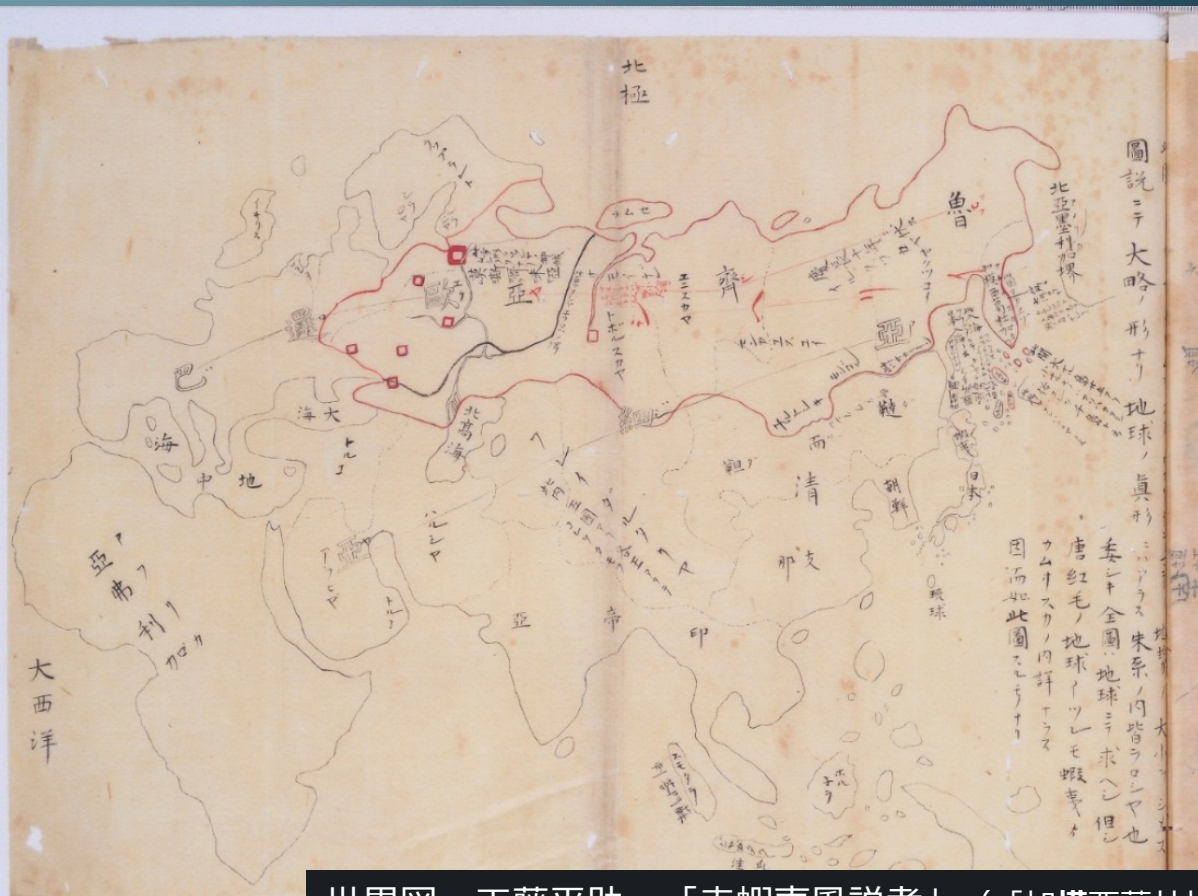


ロシアを描いた日本初の地図



世界図 工藤平助 「赤蝦夷風説考」 (「加模西葛杜加国風説考」)
 天明3年(1783) 天理大学天理図書館所蔵

ロシアなぜ巨大化したのか。

工藤平助

「赤蝦夷風説考」

ヲロシアの国古代は欧羅巴堺内に在ル国也
しか、段々はひこりて今ハ東西百七十度余
に亘りて大世界の一半を保ツ、西ハ欧羅巴
の堺中の隣国を蚕食シ、東ハ亞細亞堺韃而
韃の故国シヘリイの地北海を際りにて不
残伏従せしめて、北亞墨利加堺カムサスカ
赤狄の地并ニ赤ゑそよりくちゑそにつゝ
く島々及び奥ゑそカラフトの北サカリイ
ンの島まで一円に一國となつて各代官を
置、街道を開キ、河道を通シ、海船を達し
て大貨殖を致す、古来より大辺鄙の地ア
カエソにかきらす、惣而大富饒となれり
とかや、これによつて、万国の産物何にて
もなき物はなしとそ

ロシアはなぜ巨大化したのか。

工藤平助

「赤蝦夷風説考」

〔シベリア〕此国に庶人のうちに『アニカ』
といふ人有、大毫富、一国をかたふけ、智
勇の人物なりしよし、時に大盜賊蜂起して
大軍におよひ、挙国鼎沸す、其時の守護人
も皆賊のために滅亡す、『アニカ』防戦の力
尽て、始て『ヨロシヤ』へ救を請ふ、『ヨロシ
ヤ』即大救兵を出して乱を靖め、法を改め、
政を匡し、上下を存問して兵を引揚たり、
『シヘリヤ』の万民、皆其徳をしたひて、尽
く伏従するに至となり、『ヨロシヤ』の国を
ひろめたるハ、皆此類なり、兵威を以て、暴
逆に切取の類、惣而無名の兵は出さぬとか
や、